学校便り

えきや

2025年(令和7年)　7月18日

福山市立駅家小学校

―自分で考えて行動する―　第7号

１学期を終えて

１学期が終わりました。どの子も大きく成長しました。少し日に焼けた笑顔が、充実した１学期であったことを物語っています。地域の皆様、保護者の皆様にはたくさんのご支援とご協力をいただきました。おかげさまで、大きな事故もなく、子どもたちが元気に１学期の終わりを迎えることができましたことを、お礼申し上げます。

さて、いよいよ明日から、子どもたちが楽しみにしていた夏休みが始まります。夏休みは、学校中心の生活から、家庭・地域中心の生活になります。子どもたちは、「あれもしたい。これもしたい。」とチャレンジしたいことがいくつかあると思います。まずは、ご家庭で子どもさんとしっかり話し合って決めてください。

生活アンケートにご協力ありがとうございました

先日は、生活アンケート（教育委員会）のご協力ありがとうございました。子どもたちには、基本的生活習慣を確実につけてほしいと思います。

夏休みも

①起床時刻・就寝時刻を決める

②朝ごはんを食べる。（決まった時刻に）

③家庭学習（低学年３０分以上　中学年45分以上　高学年60分以上）をする。

④メディア（動画、ゲーム等）の時間を「３時間以内」にする。

これについても、ご家庭でしっかり子どもさんと話し合ってください。

夏休みを有意義に

子どもたちには、熱中症や水の事故、交通事故には特に気をつけながら、暑さを吹き飛ばすような楽しい夏休みを過ごしてほしいと思っています。また、夏休みは是非、家族でともに過ごす時間をたくさん作っていただきたいと思います。家族でいっしょに料理を作ったり、いっしょに工作をしたり、いっしょに運動したりするのもよいでしょう。

親や祖父母から教わったことは、子どもの心の中にずっと残ります。そして、いつか自分に子どもができたときに教え継がれるものです。学校教育にはない、家庭教育の良さが発揮されるのも夏休みの良いところです。みのりの多い夏休みになるとよいですね。

「温かいまなざしと声かけ」

子育てをしていた頃､次のような話を聞いたことを思い出しました。

不安な気持ちで子どもを育てると､子どもも不安になる、とげとげした家庭で育つと、子どもは乱暴になる。叱りつけてばかりいると、子どもは自分は悪い子なんだ」と思ってしまう。

しかし、励ましてあげれば、子どもは自信を持つようになる。広い心で接すれば、落ち着いた子になる。誉めてあげれば、子どもは明るい子に育つ。愛してあげれば、子どもは自分を好きになる。見つめてあげれば、子どもは頑張り屋になる。分かち合うことを教えれば、子どもは思いやりを学ぶ。親が正直であれば、子どもは正直であることの大切さを知る。子どもに公平であれば、子どもは正義感のある子に育つ。やさしく思いやりを持って育てれば、子どもはやさしい子に育つ。守ってあげれば、子どもは強い子に育つ。和気あいあいとした家庭で育てば、子どもはこの世の中はいいところだと思うようになる。

「人は生まれた時から、人間ではない。人と人との間で人と関わって育って人間になる」という言葉があります。子どもは、自然に育つのではなく、人との関わりの中で様々なことを学んでいきます。大人の子どもに対する温かいまなざしや声かけが、子どもに自信を与え優しい子に育っていくのではないでしょうか。

いよいよ夏休みが始まります。保護者の皆様、地域の皆様、駅家の子どもたちに温かいまなざし、声かけをよろしくお願いします。

（文責　校長）